

令和4年12月15日、西牧大使は日本の資金援助によりFAO（国際連合食糧農業機関）が主催する令和3年度補正予算案件に係る引渡式出席に先立ち、同引渡式に出席予定のアウシク西カバンゴ州知事の案内で同引渡式会場から車で30分程度の距離に位置するナミビアーアンゴラ国境のひとつを視察しました。

右国境では両国の国境管理官から人の移動と物流について説明を受けました。同国境では、両国からそれぞれ1日あたり200人前後が出入りしており、中にはナミビアに居住してアンゴラで農耕を営むナミビア人もいます。主な物流貨物は、ナミビアからアンゴラにチェーンソーを輸出し、アンゴラからナミビアには木材を輸入しており、これらの木材はナミビア南部まで輸送してから南アやベトナムなど各国に輸出されるそうです。



ナミビア側の国境管理官から説明を受ける西牧大使（中央）とアウシク西カバンゴ州知事（左から二人目）



国境にて左から FAO 当地責任者、西牧大使、アウシク西カバンゴ州知事